

「M情報デスク」サポート団体
 救う会大阪 NO!民主桜組
 米国に原爆投下謝罪を求める会
 大阪の公教育を考える会
 スパイ防止法の制定を求める会
 外国人参政権に反対する会・関西
 日教組の違法行為を告発する市民の会
 竹島を奪還する会・関西
 靖国神社に眠る御霊に感謝する会

MASUKI INFO. DESK FIGHTING REPORT

関西の政治

No. 122
 【発行・編集】
 MASUKI情報デスク
 増木直美
 大阪府豊中市上新田2-6-25-113
 TEL 090-3621-1509
 FAX 06-6835-0974
<http://mid.parfe.jp/>
 mid@jewel.ocn.ne.jp

野田氏に気を許してはいけない 東京都議会議員 土屋たかゆき

幹事長も目撃証人自身の野田氏を
 民主党の幹部は恐ろしい

野田氏が民主党の新しい代表になった。彼は、いわゆるA級戦犯などは法的に存在しないと立つ立場に立っている。保守派はこれで民主党も少しは「まとも」になると期待をしてはいけない。

理由は簡単で、幹事長に、日教組出身の輿石氏を起用した。国旗・国歌否定、天皇を象徴と仰ぐ国体否定の教育を主張してきた団体の出身で、本心はいまだに考えは変わっていない。更に、小沢氏の党員資格停止を解除すべきだと主張する小沢側近でもある。

野田氏は、「党内に」敵も味方もない」と言っているが、思想的な離れは相当なものがある。そこに党内抗争がからんで、旧社会党出身議員が旧自民党議員を推すなど混乱を極めている。民主党に綱領がないのも、その辺りが影響しているのだ。

そもそも、野田氏は「戦犯は存在しない」と言いながら、靖国に参拝していない。つまり、彼の信念とは、その程度のものなのだ。「靖国に参拝すれば代表になれない」程度の信念なら初めから靖

国否定の方がすっきりしている。

夫婦別姓も外国人参政権も、人権擁護法案も「政策集」から「削除」するとは聞いていない。つまり、野田氏になったからと言って、閣僚の靖国参拝があり、政策集から革命法案が削除されるのではない。却って、サヨクの頭目、輿石氏が幹事長になったように党の運営はサヨクの主張を入れざるを得ない。

「野田は菅よりもまし」とする論は、極めて危険で、ヨクや、極左の連中の政策が「保守の顔をした代表」のもとに公然と歩き出す可能性がある。

菅氏が、「選挙は革命のためにやる」と言う、三十年来の友人が運営する「市民の党」

やその周辺組織である「政権交代をめざす会」

に、数千万円の献金をしていたことが産経新聞や今発売の「正論」に野村氏が書いています



資は民主党からのもの。つまり、民主党から、菅氏の政治資金団体に「億2300万円寄付があり、その内、7000万が「政権交代をめざす会」に献金されている。同時に、菅氏が会長であった、民主党東京連からの100万円、同じように献金がなされている。そのことに関して、菅氏は「代表代行」の職責としてやったと言っている。

「革命のために選挙をし」「そのために強い拠点を作らなければならぬ」と主張する人間の呼びかけで出来た団体に党の金を自分の政治資金団体を通じて「迂回献金」してこの行為に関して民主党内から批判はない。もちろん野田氏からもない。
 《次頁4段へ》

侵略性の根本にある中華思想
全ての民族は「中華民族」とい
う論理 2011年5月28日
<http://sakainobuhiko.com/>

中華人民共和国（以下、中共と略す）

は、世界史の流れに全く逆行する、現実の侵略国家である。中共は共産主義国家であるから、共産主義の思想によって、その侵略を行っていると考え易いが、実はそうではない。シナ人は独特の侵略思想・侵略の哲学を有している、それに基づいて、侵略を実践しているのである。中共が共産主義でなくなると、民主化されたとしても、根本的な侵略国家と言ったとしても、根本的な侵略国家と言った性質は全く変わらない。しかし、今日の日本では、この極めて重大な事実が、全くと言つほど知られていない。私はこの侵略思想を、「シナ侵略主義」と呼ぶことにしている。

シナ人の侵略思想の中核的な論理・理屈として、民族概念の二重構造がある。中共は56の民族によって構成される、多民族国家であるとされ、この中で90パーセント以上を占めるのが「漢族」すなわちシナ人で、他の「チベット族」などの民族を、一括して「少数民族」と呼んでいる。このことさらに「族」と称している民族概念は下位の民族概念で、さらにすべての民族を包含する上位の民族概念として、「中華民族」という概念が存在する。つまりシナ人だけでなく、チベット人もウイグル人もモンゴル人も、公式的には中華民族すなわち中国人なのである。したがって中共は中華民族とし

て、単一民族国家なのであると言えるこの論理によって、チベットも東トルキスタンもシナ人に侵略された。チベット人もウイグル人も中華民族・中国人なのであるから、それらの人々の居住地地域も、「中国」の一部になってしまつた。

ではこの侵略思想・シナ侵略主義は、何時どのようにして成立したのであろうか。それは一度に出来上がったものではなく、段階を追って発展・成立したものである。孫文の民族主義思想の変遷がそれを示しており、漢字四文字の熟語で表現すれば、「驅除韃虜」「五族共和」「中華民族」の三段階と捉えることができる。つまり孫文の民族に対する考え方、民族観は二度大きく変化している。本年は清帝国を滅亡させた、シナの辛亥革命からちょうど百年になる記念すべき年であるが、まずこの革命の成功によって孫文の民族に関する主張は大きく変節した。

革命以前である1909年の『中国同盟会軍政府宣言』では、革命のスローガンを「驅除韃虜、回復中華、建立民国、平均地権」と掲げた。この四か条は、後の三民主義における民族主義・民権主義・民生主義の基となったもので、最初の二つが民族主義に当たる。韃虜とは韃靼人の蔑称であり、韃靼人とは本来モンゴル人のことであるが、この場合は清帝国の支配者である満州人を意味している。つまり驅除韃虜とは、侵略者・征服者である満州人を追い出して、シナ人としての民族独立を回復することであった。

したがって回復中華の「中華」は、シナ人の国家を意味しており、これは現在の公式的な中華の用法と異なることは、

充分に注意する必要がある。この中華で表現されているシナ人の伝統的な領土は、おおよそ明帝国の領域と同じで、戦前は「支那本部十八省」と呼ばれていたところであり、現在の中共の領土の三分の一ほどの面積である。

その明を満州人が征服し、更に領土を大幅に四倍ほど拡大して、清帝国が成立したわけである。

ところが、1911年の秋に辛亥革命が成功して、翌1912年の正月に中華民国の建国が行われ、孫文は臨時大總統に就任したのだが、その就任宣言の中で、「漢蒙回蔵の諸地を合して一国となし、漢蒙回蔵の諸族を合して一人の如からんとす」と言い出すようになった。これが「五族共和」の主張である。つまり漢人、シナ人、満州人、蒙人、ウイグル人、回人、ウイグル人など回教徒、蔵人チベット人の五つの民族が、一つの民族のように共同して、中華民国を作つてゆくのだというのである。したがって中華民国の領土は、清帝国の領土をそのまま継承するのであり、各々の民族の独立は決して許されない。現在の中共における民族問題の根本的な淵源は、まさに此処に存在する。

孫文の民族理論はさらに犯罪的に発展してゆく。1921年の『三民主義の具体的方策』では、中華民国の民族問題について、「余の現在考えている調和方法は、漢民族を以つて中心となし、漢蒙回蔵四族を全部我らに同化せしむると共に「漢蒙回蔵の五族の同化を以つて一個の中華民族を形成し、一個の民族国家を組織し」と主張した。つまり五つの民族で「中華民族」を形成するのであるが、中心はあくまでもシナ人であつて、他の民族はシナ人に同化されるべきであるといふの

《↓前頁末尾より》
と云ふことは、この革命組織に党の金を（民主党は国民の税金である政党助成金依存率が高く84%近くにもなっている。税金で運営されている政党だ）迂回して献金することを「了」としている議員の集まりであると言つたのだ。
つまり、民主党の革命性は全く変わっていない。

結論として言えば、一日も早い「政権交代」が必要で、その前提として革命政党の解体が必要となる。もちろん、真正保守政党の結成なしに、真の政権交代は実現しないだろう。

そのためには、広範な国民運動が必要だ。数十名の人間では到底無理だし、数百名でも無理だ。つねづね言っているように、国会を取り巻くくらいの数万の「民意」の結集があつてこそ実現するのだ。それが、民主政治と言つものだし、その中核となる、国体の明徴こそが「保守の証」であることに間違いはないと考える。

政経塾出身の、西欧民主主義者には理解は出来ないだろうが、それが我が国では無いだろうか。
=====

この考え方をあからさまに表現したのが、孫文の最晩年、つまり没年の前年である1924年に行つた、三民主義の連続講演（現在、孫文の『三民主義』として出版されているもの）の中の、次の言明である。「では、中国の民族はと言つと、中国民族の総数は四億、その中には、蒙古人が数百万、満州人が数百万、チベット人が数百万、回教徒のトルコ人が百数十万交じつているだけで、外来民族の総数は一千万にすぎず、だから、四

億の中国人の大多数は、すべて漢人だと言えます。おなじ血統、おなじ言語文字、おなじ宗教、おなじ風俗習慣を持つ完全な一つの民族なのであります。」

要するにシナ人以外の他の民族は、完全に無視してかまわない存在であって、シナ人に同化吸収されるべきものであり、彼らには生存する権利はないのである。旧ユーゴスラビアでは、国家が解体して内戦が起き、セルビア人による他民族に対する「民族浄化」が発生したとされ、欧米諸国が非難してNATO軍が空爆を行った。シナ人による民族浄化、すなわち民族抹殺は、膨大なシナ人の人口圧力によって、他民族を同化吸収して消滅さよととするものであり、実態的には同じことを目指している。したがってそれは、ナチスのユダヤ人大虐殺とも本質的に同一の行為である。

すなわち、シナ人による侵略の思想は、既に中華民国の時代に立派に形成されていた。ただし中華民国の段階では軍事力が弱体で、本来のシナの領土すら統一できなかつたくらいだから、チベットなどへの侵略は実現できなかった。それが第二次大戦後、中華人民共和国が誕生して、巨大な軍勢力を手に入れたとき、シナ人としての以前からの野望を遂げ、南モンゴル・東トルキスタン・チベットを、次々と侵略併合して行ったのである。

そして特に重要なのは、このシナ侵略主義の思想は、今後の更なる発展の可能性を秘めていることである。例えば、中共のGDPの「少数民族」の一つに「朝鮮族」がある。これらの人間は主として旧満州、中共の東北地方に居住しているのであるが、もしも朝鮮半島（韓国と北朝鮮）の朝鮮人も中華民族として認定され

れば、朝鮮半島も「中国」の一部になるわけである。このような立場の民族は、中共国内と周辺諸国に沢山存在するから、中華民族概念は、今後シナ人が周辺地域を侵略する場合、極めて有効な凶器になるであろう。同様な危険性は、実は我が日本にも当てはまることを、ゆめゆめ見逃してはならない。

私は以前から、シナ人による日本侵略の三段階論を主張している。それは、精神侵略・人口侵略・軍事侵略の三段階である。第一段階である精神侵略は、教科書問題・靖国参拝問題などの歴史問題の利用によって、既に完成した。現在進行しているのは、第二段階である人口侵略である。

法務省が毎年発表している外国人登録者数の統計によると、最新の数字である2009年末で、台湾・香港を含む「中国人」人口は68万518人で、国別で最大になっている。日本の外国人人口で長い間トップだったのは、韓国・朝鮮人であったが、2007年に追い抜いた。「中国」人口は急増しているからである。

それは1991年に17万、2001年に34万、2009年に68万であり、ほぼ10年ごとに倍増している。旧来のようなオリーブステイのほか、時おりメディアで報じられる日本人とシナ人の偽装結婚も、入管当局の必死のチェックを巧みにかいくぐり、いまだ公然と行われている。したがって、遠からず100万人の大台を突破するであろう。また韓国・朝鮮人のように帰化にこだわらないから、帰化人口もかなり存在しているはずである。

この人口侵略の段階は、司時にシナ人

による経済侵略の段階でもある。この十年、GDPが全く成長していない日本に対して、GDP第二位に躍り出た中共による企業買収は、急速に進行するであろう。またシナ人が日本の土地買収に乗り出していることも、最近知られてきた事実である。経済のみならず日本のあらゆる分野に進出しているシナ人の活動振りには、朝日新聞が長期に渡って掲載した「在日華人」と題する大型記事に、詳しく紹介されていた。注意しなければならぬのは、この人口侵略は軍事侵略ではない以上、日米安保条約では全く防げないことである。シナ人は、日米安保の矢弾が利かない人口侵略で極めて順調な攻勢を取りつつ、日米安保崩壊後に訪れる軍事侵略の好機を虎視眈々と見計らっているのである。

では今後、日本の運命はどうなるであろうか。アメリカは絶頂期を過ぎて、衰退期に入っていると考えられる。したがって、世界第二位の軍事大国に成長した中共と、軍事衝突することはありえないであろう。アメリカも膨大な軍勢力を維持できなければ、日本列島から撤退せざるを得ない。そうなればシナ人は日本に対して、軍事侵攻を開始するだろう。その時に、侵略を正当化する大義名分として使われるのが、中華民族の論理であることは間違いない。

現在のところ、中共では日本人を少数民族の一つに認定していないが、それは何時でも一方的にできることである。シナ人と文明的には極めて異なるチベット人が、中華民族にさせられているのであるから、漢字漢文・律令制度・シナ仏教・建築工芸など、数多くの文明的要素をシナから輸入した日本人が、中華民族に編入されることは、少しも不思議ではない。

我愛車の車検 増木重夫

我愛車、トヨタグランビアの車検だ。それでいつものように、大阪トヨベットのマスキ担当という悲劇と不幸を味わっている濃田クンの携帯に電話を入れる。ところが何回電話をしてもつながらない。おかしい。逃げたか。それで直接会社の受付に電話を入れた。いない。「研修」だという。「ああそう、じゃあ夜にでも電話頂戴。」ところが「夜にも電話をできない。」と言った。何かあったのか。朝から夜まで研修？ おかしい。臭う。そこで「所長を出せ！」と怒鳴る。受付君は「実は・・・」としぶしぶ話始めた。社員を2班にわけ5日間のハワイ社員旅行に言ったのだ。私はぶちきれた！「バカモノ！」なぜ胸を張って言えぬ。なぜトヨタにする。天下のトヨタ、日本の基幹企業が相応の業績を上げ、社員みんなハワイ旅行。自慢すべき話じゃないか。それが国民にとって一番の励みと安心だ。国民は皆「トヨタに続け！」と頑張る。トヨタが「今年から社員旅行はハワイを止めて羽合温泉（鳥取県）にしました。」などと言ったら、そのとき日本経済の終焉。しゃれにもならない。大震災もあり、気がひけるのもわからないではない。しかし、それはそれ。日本を背負っている自信と自覚を持って。しっかりしろ！ と激を飛ばしておいた。帰阪後即濃田クンが「ご迷惑をおかけしました。」とやってきた。「自信を持って！」と再度みっちりお説教。彼は、「チヨコレートを一куп買って来たんですが、どこに配るか悩んでいます。これで自信を持ってお客様にチヨコを配れます。」と言ったので「全部うちへ置いてけ」と言ってやったら、飛んで逃げ帰った。

自治基本条例に反対する市民の会

資料提供；自治基本条例に反対する市民の会 http://hanjichikihon.kesagiri.net/simpleVC_20110706141836.html

「自治基本条例」という条例を「存知でしょうか？ 全国200を越える市町村で制定済み、もしくは制定されようとしている条例です。」

この条例は「市民の市政へ参加、市民優先の条例 市条例を最高規範とする。」と謳われています。しかし、その実態は「第二の外国人参政権」「日本分断」が目的です。

この条例は、資格を問わず誰でも「市政に参加」出来ることです。参政資格をみると、殆どの市町村で次のようになっています。

「住民」「通学生」「通勤者」「活動団体」「JDM」「外国人」
要は「外国人参政権」の裏技、鮎の反釣りの尻尾の後ろにつける針のようなものなのです。
こんな危ない条例を許していいわけはありません。

我々はこの条例に反対し、粉砕すべく、7月16日、東京日本橋公会堂に集い、高崎経済大学教授八木秀次先生を講師にお招きし「これは国家解体の策謀だ！自治基本条例制定の本当の狙い」と題して講演いただきました。また水島総氏、木上和高氏、三輪和雄氏、鈴木信幸氏等来賓各位から「何が何でも阻止！」と激を受け、本会を立ち上げました。みなさまのご参加をお願いします。ともに情報提供をお願いします。

この条例を断固止めましょう！
平成23年7月17日

自治基本条例に反対する市民の会
会長 村田春樹

名称編

自治基本条例は、様々な名称で制定されています。主なものを探してみました。あなたの町のページを調べてみましょう。

大きくは、自治基本条例とまちづくり条例に分かれています。

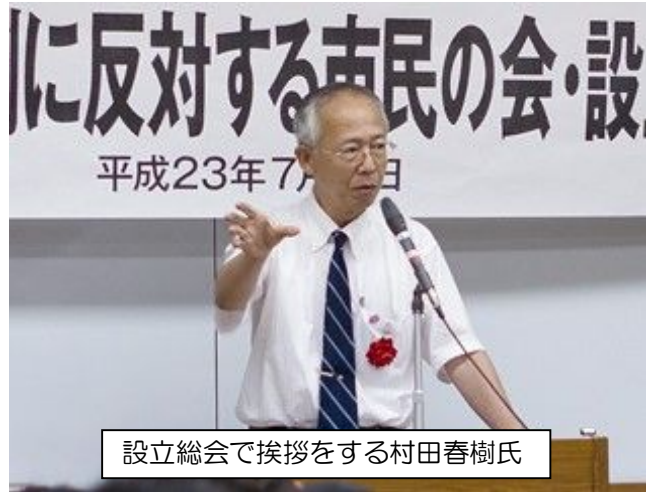
- 自治基本条例 50
- まちづくり基本条例 45
- 市民参加条例 11
- 協働のまちづくり基本条例 3
- 市民参加推進条例 3
- まちづくり参加条例 2
- まちづくり自治基本条例 2
- まちづくり理念条例 2
- 町民参加条例 2
- 「文の京」自治基本条例 1
- パートナーシップのまちづくり基本条例 1
- まち・ゆめ基本条例 1
- まちづくり条例 1
- みんなでつくるまちの基本条例 1
- みんなでまちづくり自治基本条例 1
- むらづくり基本条例 1
- 元気な人間まちづくり条例 1
- 市政運営基本条例 1
- 市政基本条例 1
- 市民基本条例 1
- 市民自治基本条例(理念条例) 1
- 市民総参加のまちづくり基本条例 1
- 自治の推進に関する基本条例 1
- 自治憲章条例 1
- 住みよいまちづくり条例 1
- 住民自治基本条例 1
- 情報共有と市民参加のルール条例 1
- 村民参加条例 1

- 行政基本条例 1
 - 市民基本条例 1
 - 市民協働まちづくり推進条例 1
 - 市民協働参画条例 1
 - 市民参画条例 1
 - 市民参画を推進する条例 1
 - 市民参加のまちづくり基本条例 1
 - 市民参加及び協働の推進に関する条例 1
 - 市民参画と協働のまちづくり基本条例 1
 - 行政活動への市民参加の推進に関する条例 1
 - 市民と行政のパートナーシップのまちづくり条例 1
 - 市民参加と市民協働の推進に関する基本条例 1
 - 市民参画、協働及びコミュニティ活動の推進に関する条例 1
 - 市民参画と協働による新発田市まちづくり基本条例 1
- 総計 152 (2008年度)

既に基本条例が制定されている
危険極まりない地方自治体
平成22年4月1日現在

- 北海道 北海道 二セコ町 猿払村
- 奈井江町 白老町 芽室町
- 札幌市 旭川市 帯広市
- 留萌市 苫小牧市 稚内市
- 下川町 富良野市 芦別市
- 中札内村 苫前町 登別市
- 三笠市 福島町 幌延町
- 厚沢部町 沼田町 釧路町
- 遠別町 清水町 美唄市
- 石狩市 上川町 上富良野町
- 平取町 清里町 音更町
- 八雲町 名寄市
- 八戸市 階上町 おいらせ町
- 五戸町
- 青森県
- 岩手県 奥州市 洋野町 花巻市

- 宮城県 東松島市 日理町山形県
- 白鷹町 長井市 川西町
- 福島県 会津坂下町 大玉村 三春町
- 矢祭町 三島町 南相馬市
- 上越市 新発田市 妙高市
- 新潟県 白崎市 聖籠町 関川村
- 新潟市
- 新潟市
- 日光市 宇都宮市 芳賀町
- 甲府市 都留市
- 山梨県 小美玉市 ひたちなか市
- 茨城県 玉村町 伊勢崎市 太田市
- 群馬県 みなかみ町
- 埼玉県 吉川市 新座市 宮代町
- 志木市 三芳町 鳩山町
- 秩父市 和光市 入間市
- 富士見市 川口市 熊谷市
- 美里町 草加市 久喜市
- 三郷市 所沢市 坂戸市
- 羽生市 北本市 春日部市
- 白井市 浦安市
- 千葉県 白井市 足立区
- 東京都 文京区 中野区 足立区
- 西東京市 狛江市 清瀬市
- 杉並区 国分寺市 多摩市
- 豊島区 三鷹市
- 神奈川県 開成町 川崎市 大和市
- 寒川町 湯河原町 厚木市
- 大井町 海老名市 箱根町
- 愛川町 逗子市 平塚市
- 茅ヶ崎市
- 長野県 飯田市 千曲市
- 高森町 軽井沢町 岡谷市
- 茅野市
- 静岡県 静岡市 金沢市 羽咋市
- 石川県 輪島市
- 福井県 加賀市
- 愛知県 あわら市
- 田原市 知立市 三好市
- 豊田市 東海市 日進市
- 大口町 安城市



設立総会で挨拶をする村田春樹氏

鳥取県	高知県	愛媛県	香川県	広島県	岡山県	兵庫県	大阪府	京都府	滋賀県	岐阜県	三重県											
鳥取市	高知市	伊予市	丸亀市	三ツ子市	新見市	矢掛町	明石市	伊丹市	兵庫県	大東市	豊中市	箕面市	京丹後市	近江八幡市	多治見市	伊賀市	志摩市					
日吉津村	北栄町	巴南町	四国中央市	さぬき市	善通寺市	備前市	笠岡市	瀬戸内市	篠山市	相生市	朝来市	宝塚市	大坂狭山市	八尾市	松原市	吹田市	京都市	甲良町	野洲市	岸和田市	池田市	阪南市

政権が民主に移り、半分(2年)が立ちました。そして党首は3代目。「外国人参政権付与法案」で私たちは何が何でも阻止と必死で反対してきました。その甲斐あって、何とかこの法案は一旦お蔵入りになったようで一安心、ところがどっこい、お蔵入りどころかさらにパワーアップしているのです。なぜか。菅前総理、前原前外務大臣、そして野田現総理までが外国人(在日等)から献金を受けていたからなのです。たぶん氷山の一角でしょう。だから彼らは必死なのです。そうはさせない!

増木

島根県	雲南市	山口県	山口市	下関市	防府市	福岡県	宗像市	うきは市	大分県	九重町	合志市	熊本県	鹿児島県	薩摩川内市	鹿児島市	出水市																																
佐倉市	和泉市	久喜市	さいたま市	小樽市	出雲市	越谷市	ふじみ野市	掛川市	垂井町	白岡町	みよし市	青森市	魚津市	士別市	小田原市	太宰府市	横須賀市	立川市	江別市	日田市	太宰府市	津市	湯上市	丹波市	大和泉市	調布市	佐賀市	米子市	八千代市	川越市	栃木市	松坂市	武蔵村山市	日高町	滝川市	横手市	喜多方市	門真市	相馬市	茨木市	我孫子市	千葉市	綾瀬市	糸満市	つくば市	柏市	白岡町	宇治市

危険な自治体予備軍
ただいま一生懸命準備中の町

日本解体は、地方から…
大震災の陰で日本解体が進んでいる…

知っていますか? 自治基本条例

全国で200を超える市町村が既に制定

絶対に許してはいけない条例
年齢も国籍も、他市の人でもだれでも市政に参加
殆どの人が知らない条例、それが自治基本条例
「自分の街は自分たちでおさめましょう。」
「市制に積極的に参加しましょう。」
という市民の自覚を促す内容が羅列されています。

しかし、その実態は、日本を地方から解体する
第2の外国人参政権 といっても過言ではありません。
市民の市政参加は次のように定義されています。

自治基本条例は…
「市民が市政に参加する」
このどこがおかしいのでしょうか?

- ▶市の最高法規となる
- ▶憲法との抵触はどうなる?
- ▶市政に参加
- ▶住民投票が誰でも出来る?
- ▶最高規範とは
- ▶国の規範を遙かに超える?

市民は次の人を含む

- ▶在住している人
- ▶国籍は問わず。外国人特に歓迎?
- ▶市内で働いている人
- ▶全国、どこに住んでいても可?
- ▶税金を払っている人
- ▶生活保護者は? 国籍は?
- ▶市内の学校に通う人
- ▶年齢制限なし。親の意見も通る?
- ▶市内で活動している人
- ▶プロ市民大歓迎?

これらの人が条例の名の元に住民投票が出来る
こんな危ない条例が、いまや日本中で制定化されようとしている!

あなたの街の市長が気に入らなければ、住民投票でクビに出来る…
あなたの街の休遊地を「意識的なNPO法人」が自由にできる…
あなたの街の議員を選挙運動で変更も可能…
選挙権を持たない人間が、年齢も国籍も関係なく投票権を持つ…

そんなこんなが、地方分権、外国人参政権へと繋がっていく!!
日本解体へ、あと一歩…
こんな条例に騙されてはいけない!!

自治基本条例を
断固、粉碎、撤廃へ追い込もう!!

自治基本条例に反対する市民の会
<http://hanjichikihon.kesagiri.net/>
連絡先 〒350-1176 埼玉県川越市川鶴1-16-2
TEL&FAX 049-237-6217
E-mail haruki07@guitar.ocn.ne.jp (会長 村田春樹)
han_jichikihon@yahoo.co.jp (事務局長 永井由紀子)
携帯 090-7055-2500 (村田) 090-6478-4727 (永井)

終戦の日を迎えて

私たちの平和宣言

平成二十三年8月6日 広島

平成二十三年8月6日 リーガロイヤル広島において、「日本会議広島」が主催し、「平和と安全を求める被爆者の会」が協力。弊々情報も協賛させていただき、田母神俊雄氏、青山繁晴氏を迎え、「広島を疑う」と題し、大公園会が行われた。今回で3回目、1900名が参加。東京、大阪、神戸、長崎と特設会場が設けられ、各地とネットをつながり中継された。情報も大阪会場を担当させていただいた。そして、冒頭、我々は、「私たちの平和宣言」を高々と宣言させていただいた。

私たちの平和宣言

平成二十三年8月6日 広島

66年前の今日(きょう)、非道なる原爆攻撃は夥(おびただ)しい無辜(むこ)の民(たみ)を一瞬にして殺傷し、街は灰燼(はいじん)と化しました。突然に絶たれた命、苦痛の最期(さいご)を遂げた命、これを思えば今なお滄茫(ほうぼう)の涙を拭(ぬぐ)うことも叶(かな)いません。辛(辛い)くも生き延び、なおも心身の深い傷と、明日知れぬ恐怖に慄(おの)のかれた方々...。皆様はあの惨状(さんじょう)さんじょうを、悲嘆(ひたん)と憎悪(ぞうお)を、秩序(じつじ)整然たる態度(たいど)で耐え忍び、希望(きぼう)に向かって手を携え復興(ふっこう)に邁進(まいしん)まいしんされたのです。爾来(じらい)人々は渾身の努力(なつり)を傾け、我が国は世界屈指(せかいけっし)の技術(ぎじゆ)力を誇る主要な経済(けいぎ)大国(だいこく)の地位(たいち)を占め、私たちは平穩(へいべん)な日々を送(おく)るようになりました。

ここに改めて深い鎮魂(ちんこん)と感謝(かんしゃ)の心を捧げます。

しかし、平穩(へいべん)は破(やぶ)られました。3月1日の大地震(おおじしん)と大津波(おおつなみ)はおおつなみは、営々(えいぜい)として築(た)かれてきた東北(東北)地方(ちほう)の多くの街(まち)を、故郷(こきょう)ふるさとを、一瞬(いつしん)のうちに喪失(そうじつ)せよとさせ、3万有餘(ゆうじゆ)の犠牲者(ぎせいしや)と50万人(ごじゆばんにん)余(よ)の避難民(ひなんみん)を生(な)みましました。名状(めいじょう)しようしがたい被災(ひさい)地の惨状(さんじょう)は、あの当時の広島(ひろしま)の姿(すがた)と重(おも)なります。

遺体(いたい)収容(しゆうりやう)に当た(あた)った自衛隊(じえいたい)や警察官(けいさつ官)は、「傷(きず)つき汚(く)れた遺体(いたい)を少しでもきれいにして家族(かぞ)に返(かへ)したい」という想(おも)いを込(こ)めて、自分の家族(かぞ)を扱(あつか)うように一(ひと)体(たい)一(ひと)体(たい)手(て)で洗(せん)いました。

波(なみ)に消(け)え、離(わか)れ離(わか)れにな(な)った数(かず)多(た)くの母(はは)と子(こ)、そして家族(かぞ)族(ぞく)。天国(てんこ)で再び(ふたたび)絆(絆)が結(むす)ばれんことを...。被曝(ひばく)の危険(けんけん)を身(み)に受(う)けたハイパーレスキュー隊(たい)の働(はたら)きは、放射能(ほうしゃねい)の放出(はうしゆつ)を大(お)きく抑制(じやくせい)しました。余震(よしん)の中で避難(ひなん)に遅(おそ)れた人(ひと)の背(せ)中(ちゆう)を押し、急(いそ)がせ、自(みづか)らは波(なみ)に呑(の)まれた警察官(けいさつ官)がいました。避難(ひなん)を呼(よ)び掛け続(つづ)け、マイクを持(も)ったまま命(いのち)を絶(た)れた若(わか)い女性(にょせい)の姿(すがた)は、中立条約(ちゅうりつじやうやく)を破(やぶ)った不法(ふぽう)な軍事(けいじ)攻撃(こうげき)に晒(さら)されたながら刻(とき)々と事(こと)態(たい)を知らせ、最後(さいご)に「日本(にっぽん)にっぼん」の皆様(みな)さようなら」と打電(うちでん)して絶命(けつめい)した樺太(からふと)と真岡(まの岡)もおか郵便局(ゆうびんきょく)の女性(にょせい)を思い起(おぼ)させました。

避難(ひなん)した人(ひと)々は、乏(乏)しい物資(ぶつし)を分(わか)ち合(あ)い、助(たす)け合(あ)い、老幼(らうじゆう)を労(ろう)いたわり、整然(せいぜん)と列(れつ)を作(つく)って物資(ぶつし)の分配(ぶんぱい)を受けました。

原爆(げんばく)の時(とき)、非常(ひじょう)呼集(こけい)されて救助(きうす)に当た(あた)った

たった軍人(ぐんじん)や警察官(けいさつ官)、医師(いし)と看護婦(かんごふ)、公務員(こうむいん)、自(みづか)らも被災(ひさい)しながらわが身(み)を顧(顧)みかえり(み)ず、力(ちから)を振り絞(しぼ)って救援(きえん)に参(ま)じた民間(みんかん)の人(ひと)々と、今年(ことし)の災害(さいがい)で家族(かぞ)族(ぞく)を失(う)せても、救助(きうす)活動(かつどう)に挺身(ていしん)でいしんした『自衛隊(じえいたい)、警察(けいさつ)、消防(しょうぼう)、海上保安庁(かいじやうほあんちやう)、国(くに)や自治体(じちたい)や民間(みんかん)の人(ひと)々(々)』の献身的努力(けんしんてきなつり)と、そして避難(ひなん)者(しや)たち(たち)の姿(すがた)は、時(とき)を隔(へ)だ(だ)てても変(か)わらない日本(にっぽん)人(ひと)にっぼん(にっぽん)の誇(こほ)り高(たか)き不屈(ふくせき)の精神(せいしん)の発露(はつろ)は(は)つ(つ)ろ(ろ)でした。

66年前(むむじゆねん)のあの時(とき)の皆様(みな)が、「秩序(じつじ)整然(せいぜん)たる態度(たいど)はわが国(くに)人(ひと)々(々)に(に)びと(びと)の範(はん)はん」とするに足(たり)る」と隣国(りんこく)から賞賛(しょうさん)されたのと同じ(おな)じように、今(いま)の同胞(どうぱ)達の冷静沈着(れいじやうしんじやく)、凜(れい)りんとした行動(こうどう)は、諸外国(しよがいこく)の人(ひと)々(々)を驚嘆(きやうたん)きよ(き)う(き)う)たんとさせました。灼熱(しゃくねつ)しやくねつ(しやくねつ)の原爆(げんばく)が皆様(みな)の心(こころ)にまでは届(とど)かなかったように、凍(こ)える大波(おほなみ)は同胞(どうぱ)の心(こころ)までは流(なが)せな(な)かったのです。皆様(みな)の高(たか)き心(こころ)は、時(とき)を経(へ)ても失(う)わ(わ)れては(は)い(い)ま(ま)せ(せ)ん(ん)で(で)した。あの当時(あのたうじ)を生(な)きた皆様(みな)は、どの国(くに)の力(ちから)も借(か)りず(ず)に惨(あつ)禍(くわ)さん(さん)かに立(た)ち向(む)か(か)わ(わ)れた(れ)た(た)ので(ので)した(した)ね(ね)。

に「ありがとう」と言(い)います。そして、諸国(しよこく)の人(ひと)々(々)よ、心(こころ)からあ(あ)りが(が)とう(とう)。

しかし、一(ひと)目(め)目を外(あ)に転(ま)じれば、東(あづま)の津波(つなみ)とは無(む)関係(かんけい)に、北(きた)の海(うみ)にある我(われ)が(が)大(おほ)地(ち)に彼(か)の(の)国(くに)の要人(やうじん)が踏(ふ)み込(こ)み、西(にし)の海(うみ)では隣国(りんこく)の艦船(かんせん)の撃沈(げきしん)と人(ひと)々(々)の暮(く)らす島(しま)への突(つ)然(ぜん)の砲撃(ぱうげき)で緊張(きんじやう)は高(たか)まりま(ま)した。南(なん)の海(うみ)では我(われ)が艦艇(かんてい)に漁船(りしせん)が突(つ)撃(げき)し、日本(にっぽん)にっぼん(にっぽん)の主権(しゅけん)を犯(おか)す波(なみ)がひた(ひ)ひたと迫(せま)っています。三(さん)つ(つ)の波(なみ)は、忌(い)まわ(わ)しい核兵器(かくへいぎ)を背景(はいけい)に、武威(ぶい)を押し立(た)てた人(ひと)々の波(なみ)です。祖国(そこく)は今(いま)、危機(きき)の中(ちゆう)にあり(あ)ります。私(わたし)たちは『四方(よも)の海(うみ)に波風(なみかぜ)なみかぜの立(た)ち騒(さわ)ぐ』ことを決(き)して望(のぞ)み(み)ま(ま)せん(ん)が、迫(せま)り来る(くる)国(くに)の微笑(びごう)に幻(まぼろ)惑(まど)された「核廃絶(かくはいせつ)」の呼(よ)びかけ(かけ)だけでは、武威(ぶい)の波頭(なみづか)は(は)こ(こ)を押し留(とど)めることはでき(き)ません(ん)。それは、さら(さら)に遠(とほ)い南(なん)の海(うみ)の現(げん)実(じつ)をみ(み)れば(れば)明(あ)らか(か)ず(ず)です。同胞(どうぱ)よ、敵(てき)しい現(げん)実(じつ)から目(め)を逸(よ)らす(らす)勿(な)かれ。夢(ゆめ)の言葉(ことば)は(は)今(いま)は(は)要(い)ら(ら)ない(ない)。祖(そ)国(こく)の平和(へい)と、自由(じゆう)と繁栄(はんえい)のため(ため)に何(なに)をな(な)す(す)べき(べき)か(か)を深(ふか)く思(おも)考(こう)せ(せ)よ。三(さん)度(た)目の核(かく)の惨禍(さんくわ)を防(ぼう)ぐ手(て)段(だん)を備(そな)え(え)よ。私(わたし)たちは万(ばん)国(こく)の法(ぽう)の認(にん)める(める)あ(あ)ら(ら)ゆる(ゆる)実(じつ)効(こう)的(てき)な努力(なつり)と行(こう)動(どう)を続(つづ)ける(ける)こと(こと)だけ(だけ)が、それ(それ)を可(か)能(にん)にする(する)と信(しん)じます。

原爆(げんばく)で全(ぜん)身(みん)に火傷(やけど)を負(お)い、白(しろ)い薬(くすり)で塗(ぬ)り固(かた)められた少年(せうねん)が「アメリカ(あめりか)の馬鹿(ばか)やろ(ろ)」と(と)言(い)って死(し)に(に)ま(ま)した(した)。そのアメリ力(あめりか)が、今(いま)度は(は)誰(たれ)も真(ま)似(に)ので(ので)き(き)ない(ない)活動(かつどう)を(を)した(した)のです。瓦礫(がら)に覆(おほ)われた仙(せん)台(だい)空(くう)港(こう)を瞬(しゆん)く(く)うち(うち)に修復(しゆふく)して大(おほ)型(がた)輸送機(しゆそうき)を飛(と)ばし、各(かく)地(ち)に物資(ぶつし)を届(とど)け、自衛隊(じえいたい)の車(くるま)両(りやう)を運搬(うんぱん)して、我(われ)が国(くに)の活動(かつどう)を根(ね)底(てい)から支(さ)え(え)ま(ま)した(した)。取(と)り残(のこ)された島(しま)に物資(ぶつし)を運(う)んだ艦艇(かんてい)では、艦長(かんちやう)や将兵(しやうへい)が、持(も)てる私物(しりぶつ)を下(くだ)着(ま)ま(ま)で供出(きゆうしゆ)して被災者(ひさいしや)を救(きう)いました。彼(か)ら無(な)くして迅速(しんじゆん)な救(きう)援(えん)活動(かつどう)は危(あや)う(う)かつ(かつ)た(た)のです。

《次頁4段目に続く》

「トモダチ」作戦(さくせん)は、「く(く)や(や)しい(しい)け(け)れ(れ)ど(ど)立(た)派(は)」でした。少年(せうねん)よ許(ゆる)し給(たま)え。今(いま)、私(わたし)たちはアメリ力(あめりか)

《次頁4段目に続く》

鎮魂の日の出来事 近藤将充(船橋市)

千鳥ヶ淵戦没者墓苑に参拝して

平成23年8月15日
午前中靖国神社に昇殿参拝した。午後、時々0分から自民党会館0階大ホールで、安倍晋三元総理の基調講演と山谷えり子参議院議員、前衆議院議員萩生田光一氏などがパネリストとなって、「どうしたら祖国日本の国難を乗り越えられるか」をテーマにしたシンポジウムが開催されるのでそれに参加した。

主催者は、社団法人 全国教育問題協議会である。そのシンポジウムまでに時間があったので、千鳥ヶ淵墓苑にお参りすることにし、12時ちょっと過ぎ頃墓苑に着いた。

例年午後には靖国神社に参拝したのち千鳥ヶ淵に回るので、静かな環境でお参りできるのだが、今年は上述したように早めに行ったところ大勢の人たちが集まって慰霊の行事を行っていた。

私は少し離れた後方から、靖国神社での参拝同様無名戦士の英霊に感謝の誠を捧げた。そのあと時間もあつたので、どのような団体が慰霊を行っているのか暫し見ることにした。司会者の声が聞こえ、〇〇平和団体理事長挨拶の紹介を受け、その理事長が戦争はいけない・平和を目指そうとお決まりの挨拶をしていた。式典も終盤と見えて、〇〇団体の挨拶はもう一団体が終わった。そのあと民主党の〇〇衆議院議員(年の所為で名前を失念、恥ずかしい限り)の挨拶に続き、社民党党首の福島瑞穂が英霊に向かって誓いの言葉を述べていた。

何年も前から靖国神社参拝 ↓ 千鳥ヶ淵墓苑と回るのがお決まりのコースで

あつたので、社会党の土井たか子党首の献花が墓苑に飾られていたのを知っていたし、左翼の政治家が靖国を忌避する一方で千鳥ヶ淵には慰霊の行為を示すことにも、かねがね強い違和感を持っていた。しかしこれほどの人数を集め、そのうえ旧社会党系列の政治家を招き慰霊の行事を行っていることは、正直言って知らなかった。

改めて考えてみるまでもないことだが、靖国の英霊も千鳥ヶ淵の英霊も祖国のために尊い命を捧げられたその絶対的自己犠牲の行為には、何らの差異もなく等しく感謝の誠を捧げるべき対象であると思うのである。左翼政治家・左翼団体が靖国を敵視し、反面これ見よがしに千鳥ヶ淵に肩入れするのは、察するに靖国神社には戦犯が祀られていることを理由にしているのであらう。加えるに反米親中の彼らの大陸への配慮もあろう。

戦犯・特に>級戦犯合祀を理由に靖国を忌避する、或いは分祀を言い立てるのは何も左翼政党の専売特許ではなく、中曾根康弘元総理に代表されるように自民党政治家にも多く見られる話である。しかし戦後の歴史をちょっと勉強すれば、日本には戦犯は存在しないことはすぐ分かることであり、特に戦後政治の殆どを担ってきた中曾根氏がそのことを知らないわけがなく、総理の靖国参拝を難しくしたことと相俟って、彼の政治経歴の消しがたい汚点であると思っっている。しかしここでは、戦犯問題にはこれ以上は触れない。靖国にも千鳥ヶ淵にも、一片の赤紙で召集され帰らぬ人となった方々が、英霊として祀られているのであり、その違いは名前が分っているか否かであるに過ぎない。(遺骨を手に入れているか否かであるに過ぎない。)

遺骨を手に入れているか否かであるに過ぎない。)

な言い方であることをお許し頂きたい) そのように考えるとき私が言いたいのは、8月15日という鎮魂の日に右翼団体の跋扈も迷惑な話であるが、一方左翼の政治家や平和を隠れ蓑にした反日団体がその慰霊の行事に、「靖国への、無名戦士〇X」という形で偏ったイデオロギーを持ち込み、結果として死者を差別し英霊を差別して恬として恥じないその薄汚れた精神に対する強い怒りなのである。

これでは政争の具にされた千鳥ヶ淵の英霊は、決して浮かばれないであらう。福島瑞穂は「この世に命より大切なものはない。原爆も原発もいらぬ。そのよくな世の中をつくる」と英霊に誓いの言葉を述べていた。

しかしこの世には、命を懸けてでも守らなければならぬ価値は存在し、またそのように考えている崇高な精神の持ち主もいるのである。

3. 11の東日本大震災のとき、ある自治体の女性職員が地元民に最後まで避難を呼びかけつつ津波に飲み込まれ殉職された。地元の消防団員や警察官で同様に危険も顧みず人々を退避させ、犠牲になられた方々のことも報道されている。そこには危機管理の職にある人たちの、「私」を超えた「公」への究極の自己犠牲の精神が見られるのである。その事に世間は涙し、感謝と深い深い哀悼の意を表したのである。

《↓前頁末尾より》
れるように、遠い先の夢ではなく、今の現実を基にした実効的な政策を出して下さい。それが出来ないのなら、すみやかに身を引くべきです。
最後に、ここに眠る皆様方にお願ひします。災害で犠牲になった幾多(いくた)の魂を、勇気ある者として皆様方の仲間に入れて下さい。残った私たちは、皆様方が命をもって与えて下さった教訓を糧(かて)に、身をもって示された足跡(そく)をききを手本にして、再び祖国を復興させることを誓います。皆様方にまだ「安らかに」とは言えない我が身を恥じますが、「どうか見守って下さい。過ちは繰り返させませんから」
「平和と安全を求める被爆者たちの会」

《↓上段末尾より》
お国のために「私」の命を犠牲にして国家・共同体を守ったのである。戦争という非常時ゆえに国家・共同体は、英霊にとつて「私」の命を超えて守るべき高次元の価値であったのである。それゆえ戦没者を最高の儀礼をもって遇するのは国家の当然の義務であり、それはイデオロギーを超えた次元の話である。
然るに我が国においては福島瑞穂の言動に見られるように、神聖であるべき慰霊の場にイデオロギーを持ち込み、「公」の死を賣いた英霊を前にして「私」の「命」の絶対的価値を説いているのである。これはもはや英霊を冒瀆する以外の何もでもないが、彼女は先の大戦はおろか、3. 11からも何も学ばなかったというほかはない。このような低レベルの政治家が公党の党首として存在しえるところに、戦後民主主義なるもののいかにわがしさを感ずるのである。

祝。主権回復を目指す会設立5周年

「最近頑張ってますか!」「あいも変わらずデスヨ!」これが一番大事だと思いません。運動に一番重要なのは「継続」。

さて、西村修平氏率いる「主権回復を目指す会」が設立されて5周年を迎えました。先ずはおめでとございます。

西村氏と始めて出会ったのはもう十数年前、小田原の河野邸へ抗議に行ったときです。氏の抗議を見て「ナルホド!これが抗議か」と感動し、最後の帰り際に町内1つ分くらいある河野邸の100メートルほどある長い塀に、みんなで並んでオシッコを引っ掛けたことが、楽しい思い出としてよみがえってきます。

西村氏と私は運動の手法は必ずしも意見が合うとは限らない。しかし基本的に「我国家がどう進むべきか」という原点に返るとき、誰よりも尊敬すべき活動家でありま。

増木



H23-9-7 佐野美博・調査役(大臣官房総務課)に河野談話の白紙撤回を求めて署名簿を渡す

「シナ」は世界の共通語 主権回復を目指す会 西村修平

「中国」は日本人への強制・差別用語
「シナは蔑称でない」
(新井網公司 平成12年9月22日)

主権回復を目指す会はこの6月で設立5年目を迎えるが、当初掲げていた目標の一つに保守陣営における「4ない」の克服があった。

- ① 「4ない」とは
- ② 「デモ行進」が出来ない
- ③ 「日の丸」を掲げられない
- ④ 「街宣」が出来ない
- ⑤ 中国を「シナ」と呼べない

上記4つが「出来ない」だったのである。理由は「右翼にされてしまう、左翼などからの妨害などが怖い」などであった。保守派は講演会とか懇親会では意気盛んに愛国を吹聴するが、何か事が生じれば内にこもる書斎・サロン派に徹していた。会創設5年目にして振り返り、上記4つは保守も普通に出来る状況になったと評価していいだろう。

しかしながら4番目の「シナ」という呼称であるが、今でも保守派の一部には抵抗感があるようだ。

ほぼ12年前にさかのぼるが、この問題である事件が発生した。
千葉県の麗澤大学が「シナ」の呼称で授業を行う講師を、それは「差別語」にあたるとして、シナ人留学生の抗議を受けてこの講師を免職させた事件である。講師とは藤井厳喜氏、保守、愛国者で知

られる国際学者である。

我々はこの免職が不当解雇、言論弾圧だとして麗澤大学へ徹底的な抗議行動を繰り返した。

その時の大学側との交渉並びに「シナ」という呼称の歴史的合理性を、榎 泰智氏が「政経通信15号」(平成12年9月1日)に詳細を綴っている。

さらにこの直後、シナ最大級ネットの新井網会社が「シナ(支那)は中国への蔑称」と一部の学者などから出ていた改名要求を拒否している。

因みに

- 中国運輸局：広島市中区・・・
- 中国管区警察局：広島市中区・・・
- 中国銀行本店：岡山市北区・・・
- 中国電力：広島市中区・・・
- 中国地方の子守歌：岡山県が発祥の地

などなど彼のシナ大陸ではなく、中国地方とは山陰又は行政区分として鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県を指す。私が「中国」の名称を用いず「支那」と呼称するのは主に以下の理由からである。

- ①支那の呼称は古代シルクロードの要衝、雲南省に栄えた商業都市「支那城」に起源を發し、更には「秦」に由来するものであり、何ら差別的表現ではない。
- ②我が国において中国と言えば山陽・山陰道に位置する五県を指す地方名以外には存在しない。
- ③中国という表現こそ「我こそは世界の中心」とした中華思想によるものであり、日本人を東夷(東の野蛮人)と見下した逆差別語である。

④英語でCHINA(チャイナ)と呼んでもよいが、シナはだめと言うならば我々は千葉(CHIBA)をチャイバと発音しなければならなくなる。

因に仏語はシム、西語はチナ、独語はヒナ、伊語はシーナである。

千葉県柏市の麗澤大学(廣池幹堂学長)国際経済学部において非常勤講師の藤井厳喜氏が講義の中で支那という呼称を使用したため、一部支那人留学生が騒ぎ大学はその圧力に屈して、藤井氏の講義を打ち切り事実上解雇するという事件が勃発した。

平成12年6月14日付で同大学「中国人留学生会」の張麗燕(女子)が丸山康則同学部長に対して同会名で「政治学の授業に関するお願い」なる文書を提出し藤井氏の発言・態度を改善するよう要望すると同時に、「中国人留学生へ」と題する呼びかけ文を配り「藤井先生が中国人を侮辱した」と訴えたのである。

6月26日、藤井氏は張麗燕を含む支那人留学生5人と丸山学部長、それに藤井氏を非常勤講師として大学に紹介した鈴木幸夫前同学部長と対談の機会を持った。

藤井氏が支那は差別語ではない旨論理的に説明しても、彼らは「侮辱と感じる」「いやだからやめろ」と感情論を繰り返すだけで話し合いは平行線を辿った。

藤井氏が授業の中で時間を設けるので「諸君の意見を皆の前で堂々と展開してくれ」と提案したが、「議論する事自体がけしからん」と拒否、最後は「私たちが納める学費から先生たちは給料を買っているのだから私たちの言うことを聞きなさい」と絶叫する有り様。

同席した2教授は彼らを諫めるでもなく沈黙を押し通した。

小紙、前号で報じた校長に土下座を迫った東京・国立市立第2小学校の児童同様、「教えを乞う」という教育の基本理念が崩壊している。

この麗澤大学が「道徳教育の徹底」を建学以来の基本理念、と豪語しているのは正に笑止千万。最も支那人留学生としては本国に還ればこのような暴言が吐けようはずもなく、我が国を属国と見なす中華思想による発言に他ならない。ましてや国費留学生として我々が納めた税金で来日した学生の言うべき事ではない。

その後7月に入り大学側から「講義内容についてお願い」という文書で支那使用の禁止が通達されたが、藤井氏がこれを拒絶する旨回答したことで17日に講義打ち切り、事実上の解雇となったのである。この間、支那が差別語であるか否かという事は一切議論されていない。

この異常事態を受けて幣会では維新政党・新風千葉本部（現在、主権回復を目指す会代表）の西村修平代表と千葉県立小金高校（現在、県立柏北高校）の先田賢紀智教諭、そして同大学同学部の4年生で藤井氏の講義を受講しているS女史、政経調査会の榎泰智氏の5人で7月24日、同大学に抗議に向かった。

先方は丸山学部長・永井四郎同学部教務主任・松井副学部長・今村榎庶務課長が出席したが、主に丸山学部長が受け答えた。

紙面の都合上、応答の主要部分を以下の通り抜粋する。

【支那のどこが差別語ですか？】

丸山 歴史の専門家の意見では支那という言葉は秦をインド側から呼んだ言葉とか、シルクロードの絹を表す言葉とか諸説があるようだ。日本で支那という言葉が使われたのは江戸中期である。これは尊敬を込めた言葉であった。

明治中期までそうであったが、日清戦争以来日本が大陸進出を謀ってから太平

洋戦争まで支那は侮蔑語として使われた。中国の留学生は支那を侮蔑語として学んだ。

1946年日本の外務省に向かつて中国から「支那」という名称を使ってほしくない。中華民国を使うように」と、要請が来たので外務省次官名で全てのマスコミに「今後中国という名称を使うように」通達が出された。同時に文部省も学校では「中国」を用いるようにしている。中国からの留学生が「支那」に差別感を持つのは当然だろう。

西村 藤井先生に出した「講義内容についてお願い」の中で「国際関係にも十分配慮してほしい」とあるがどういう事か。

丸山 先生が外部で活動されるのは全く自由であるが、麗澤大学には学生3000人の中に留学生が400人いる。その中の158人は中国人であるということに配慮してほしいということだ。

西村 英語では「中華人民共和国」はどう言いますか。

丸山 The Peoples Republic of Chinaです。

西村 人民共和国はPeoples Republicでしょうか中華はこう言いますか。

丸山 …… The brilliant Central of the World（華やかなる世界の中心）よりもなるのでしょね。

丸山 Chinaじゃよこね。

西村 そうすると支那人留学生はChinaとよばれても怒らないわけですね。

丸山 国際的にはChinaで通っていますからね。

西村 そうすると欧米人がChinaと言うのは問題にせず、日本人が支那と言う

のに怒るのはどうしてでしょうか。どうして侮蔑を感じるのでしょうか。

丸山 その国の文化の中でそれを侮蔑と感じることがある場合、それは仕方ない事でしょう。差別というのは相手がどう受け止めるかが問題です。セクハラと同じです。

榎 言葉はそれを使う人の内面的なものではないでしょうか。「この中国人野郎」と罵倒する人と、「支那人の方大丈夫ですか」といたわりの言葉をかけるのではどちらが問題でしょうか。

西村 欧米人がChinaというのに侮蔑を感じないのは何故か問い質したのですか。

丸山 それは中国人の問題です。

西村 だから、それを支那人に説得しなきゃならないのじゃないですか。日本人だけ「支那を使うな」と言うのは、日本人だけを差別していることだと、分かってせなさいけない。

榎 支那が差別語でないという事を教えないからですよ。逆に中華と言うほうが他国を見下した差別語である、と教えるべきですよ。

丸山 藤井先生の講義を受けている学生でさえ「あれほど立派な講義をなさっているのに、何で差別と誤解を受ける支那」という言葉を使うのか、勿体ない」という声さえあります。

榎 その通り、誤解である。支那は差別語であるという誤解を解く努力をするのも大学の使命ではないですか。

丸山 大学の外でそういう運動を願いたい。大学の中では差別と感じる学生が1人でもいる限りできません。

西村 158人も支那人留学生がいたら、その中には共産党のキャップがいるでしょう。彼らは月に1回留学生の動向

を中共大使館に報告に行っています。したら「支那で結構、問題はない。中共には言論の自由など何も無い」などと誰が言えますか。言いたくても言えない人達がいる、だからそれを学問の場でやっていただきたい。それが文学博士としての先生のあるべき姿ではないですか。

丸山 私たちは教育環境を和やかなものにしようが仕事です。

西村 では支那人が騒げば何でも「ハイハイ」と聞くのですか。

丸山 何人が騒ごうが、和やかな教育環境を作るといふ事を考慮しなければならぬ。

西村 チベット人で中国のパスポートを持っていてる人がいますが、この人が「中国は漢民族の言葉である。今に我々は独立するから、中国という言葉は使わないでくれ」と言ったら、あなたはこのチベット人の言う事を聞くのですか。

丸山 仮定の問題には答えられません。現実に学園で預かっている学生達が問題なのです。

西村 ではあなたは学者としての良心を投げ捨てても平穩無事であればいいと言っているのですね。仮定の問題に答えられないならば、学問を追究する資格がない。

先田 これは学問ではなく政治問題ですよ。留学生は経済的・政治的なエリートです。もし政府の意向にそぐわない言動をとったら留学できないのではないですか。支那が差別語だとしたら逆はどうですか。卑呼は。邪馬台国はどうですか。

これらの漢字こそ悪意を込めた差別語ではないですか。それを棚にあげて支那が差別語とするのはジャパニッシングのための屁理屈ですよ。

丸山 政治問題ではなく文化の問題でしょうね。

榎 物事の真偽を問わず無条件に多数に媚びるというのであれば、何も考えず仲間外れを恐れて皆と同様にルーズソックスを履いている女子高生と同じではないですか。

S女史 私は政治学を専攻して藤井先生を尊敬する1人ですが支那と言ってもいいと思います。松本健一先生(同大学教授)の授業の中で、中国の華夷秩序を、中華人民共和国の中華というのは東夷・西戎・南蛮・北狄に対する世界の中心という意味であると習って、先生に「それは昔の話ですよ」と質問したら、「今もそうですよ」と答えられました。それでも私が「中国ということはそれを認めることで差別を感じるので、支那と言いたい」と言ったら丸山先生はどうおっしゃられますか。先生は「差別と感ずる学生が1人でもいる限り」と表現されましたが、どうですか。それは日本人の学生に対しても同じ事だと思えますが。

丸山 中国の文化の中で育った留学生が支那という言葉に対するイメージも問題です。

S女史 何人かの先生に伺ったのですが、支那という言葉自体は差別語ではないし問題ではない、という文脈で使ったかは問題になるかもしれないが、ということでした。

丸山 それは中国人の留学生にとっての問題ですよ。

S女史 私たち日本人にとってはどうなんでしょうか。

丸山 あなたはどっか呼びたいわけ。

S女史 私を含め殆どの学生は中華という意味を知らなかったわけです。知ったからといって支那と呼びたいとか中国と呼びたくない、とは思わないです。だからといって藤井先生に「支那」というのは

いけない」というのは違うのでは。榎 1人でも差別と思う人がいたらやめさせると言うのだから中国を差別と思う人がいたら中国という語を使用禁止にするのか、と聞いているのです。

丸山 逆の例でいけば、日本で育って外国へ行って、シャップのような日本に対する差別語を言われたらどうですか。

S女史 でも支那は差別語ではないですよ。それを中国の留学生に教えてあげたらいいのではないですか。それをしないということは差別語であると認めたりするのはいいですか。

榎 最後まで逃げに徹した大学側】
榎 今あなたは支那が差別語であるか否かは争わないのですか。

丸山 私自身差別語であると思いません。榎 あなたが思うのは自由だが差別語であるかどうか議論する機会を設けていただけませんか。

丸山 いや、もつこの問題については、和やかな教育環境を作るとするのが私の使命です。

西村 支那人のための和やかな教育環境ではないか。日本人学生の教育環境はどうなのか。

榎 最後に確認したいのですが、中国という言葉を使え、という根拠は世間一般の常識だからですか、それとも昭和21年の外務次官通達があるからですか。

丸山 国が決めた事。外務省と文部省も学校関係者に対して次官通達です。

榎 だがその通達は我が国が米軍の占領下にあり主権を剥奪された状態で、所謂戦勝国からの要求により出されたものであり、本来なら昭和27年に講和条約が成立し、独立を果たした段階でそれが妥当なものか否か検討すべきではなかったか。まして当時の国民党政府

と現在の中共政府とは別物である。にも拘わらず50年以上前の次官通達があるから麗澤大学では学生は支那という言葉を使っちゃいけない、という事ですね。丸山 授業の中で使うのはよくない。授業以外でも中国という言葉を使う事を望みます。

榎 先生の場合は学外ではよくて、学内ではいけない。学生はどうですか。

丸山 それはないですね。処分する、しないという次元の話ではないでしょう。中国という言葉を使うように指導します。例えば中国人がいるパーティーでは彼らが望まない言葉はさけるよう。当然のマナーですよ。

榎 それは支那が差別語であるという立場に立っており、それ以外の考えは一切認めないという事ですね。

丸山 いろいろ考え方があってしょうが我々はそついう考え方です。

西村 麗澤大学の学生がインターネットで支那という言葉を使っているのですがどう思われますか。彼の処分に関わることなのでお聞かせください。

丸山 もう時間ですから。私共の申し上げる事はこれ以上ありません。終わることになります。どうも。

(大学側一同席を立つとすると)

榎 昭和21年の外務省次官通達が根拠ということですね。それなら村山内閣がやった戦争謝罪決議にも、河野洋平がやった従軍慰安婦強制連行説も政府が認めたことですが、これにも異を唱えては行けないのか。それなら支那共産党政府と同じではないですか。政府の決定に異論を持つてはいけないというのか。

丸山 憲法論と同じではないでしょうか。現憲法がある限り生きていくわけですから。変えれば別ですよ。私共の用意している検討事項はこれまでです。

西村 こんなことをしていたら次から次へと支那人はトフブルの種を持って来ますよ。こんなの手初めですよ。

榎 政府見解に反することを議論することはいけないということですね、この大学では。

丸山 国民的常識だと思います。

榎 従軍慰安婦の強制連行はあったと言わねばならないし、日本は侵略戦争をした国なのだから言わなければならぬです。この大学では。

S女史 すみません、私も学生として藤井先生の講義の再会を望んでいます。

丸山 もう終わりにしましょう。

以上の内容からも分かる通り大学側は最後まで逃げた。結局、私としては支那が差別語ではない、という持論を開陳する機会も与えられぬまま、話し合いは一方的に打ち切られた。

大学側は民主主義のルールに沿って話し合いで解決することを拒絶したのである。ならば、解決しなければ話し合い以外の手段、つまり「暴力で来い」という事と理解すればよいのだろうか。

最高学府としての見識が疑われる。文部省ではこの支那共産党の手先に対し年間5億円の血税を私学助成金の名で投入しているのである。最近の少子化現象の中、学生が集まらず、定員割れで助成金がカットされるのを危惧して必死に支那からの留学生を誘致している地方の短大がある。聞くと、麗澤大学もその一つなのだろうか。ならば冒頭の支那人留学生の言つように黙ってお客様に従うべきと覚悟を決めているのか。

因に、本件について藤井氏が「諸君」

(文芸春秋社刊) 9月号において執筆したところ、翌10月号において鈴木幸夫教授(前出)が大学側を擁護して反論を書いているがその内容たるや誠に粗末。

「藤井氏がどうしても納得できないなら、外務省なり文部省、あるいは新聞、通信、雑誌、放送の主要各社に、なぜシナまたは支那を使わないのかと談し込んだらいい。各社がどう答えるか、大いに見ものである。」と多数を見方につけた如く嘲笑している。

大学教授という肩書きを付けて70数年生きて、よくこのような血迷った事を一般誌に書けるものである。今回の1件はあくまでも自らの受け持つ講義の中で支那の呼称を使用することを妨げるな、と言いつことであり、無知なる世間一般に對し使用を強制するといったことではないことが理解できていないのである。

これは大学側そのものも同様であろう。故に彼らとの議論が噛み合わなかったのも今となっては頷ける。

これら無知蒙昧な教授陣の下で学園生活を送らねばならないとは、向学心に燃えて入学して来た優秀な学生等があまりにも哀れではないか。

◆参考(東京新聞平成12年9月22日)「シナは蔑称でない」北京発清水美和

中国 最大級ネットが改名拒否

中国 最大級ネットが改名拒否
中国で最大規模のポータルサイト「シナ(Sina)・ネット」を経営する新浪網公司是21日、本紙の取材に対し「シナ(支那)は中国への蔑称」と一部の学者などから出ていた改名要求を拒否する方針を表明した。「シナは英語のチャイナを語源としており、それ自体に侮辱の意味は込められていない」というのが理由だ

最近、「中国青年報」など一部新聞が、中国最大のネットが「シナ」を名乗るのは国辱的だと、日本から帰国した学者などの意見を紹介する形で批判。北京大学の劉金才教授は「日本が中国への侵略を開始するにつれ中国への蔑称として使われるようになった。シナは支那と発音が全く同じであり、もし日本で中国のことをシナと呼べば中国人とけんかになる」と名称の再考を促した。

これに対し新浪網広報部は「シナは英語のチャイナの過去の発音。中国の英語名を変える必要がありますか。シナに侮辱の意味が込められているというなら、自身の国家を強大にすればいいだけの話。新浪網は将来、シナを世界のブランドにし、中国人が誇れる呼び名にする」と批判を一蹴(いっしょく)。シナ・ネットにも「欧米人にチャイナと呼ぶのを許しながら日本人にだけシナと呼ぶのを許さないのは不公平」など同社を指示する意見が寄せられている。

平成12年だから、11年前の記事になる。今読んでも面白い。

私は普通「中国」と言う。そう習ったから自然とそう言うのだらう。しかし時として、学術的な話はさておき「シナ」と確信的に差別語、侮蔑語として使う。日々、中国のやることなすことを見ている、彼らに差別語、侮蔑語を使わないほうがおかしい。私が子供の頃、父は「チャンコロ」と言っていた。当時はそれがイヤで仕方なかった。父は今80を超えたが、横浜の山下町(南京町の近所)で生まれ育った。中国人の自己中心的、協調性の無さ等々にイヤと言うほど辛酸を舐めさせられたのだらう。今は父の言葉が非常によく理解できる。増木

バイキン消毒成功 靖国神社に眠る御霊に感謝する会

我々が2年前から訴えていた、台湾立法議員高金素梅を、8月11日、警視庁が書類送検しました。

告発人になっていただいた方、集会に参加していただいた方、靖国神社で体を張って警備していただいたかた。本当にありがとうございました。

これで彼らに対して一定の抑止にはなると思っています。

もちろん、今後も高金素梅は他の者に靖国襲撃をやらせたり、いろいろな形を変え狼藉手段をレベルアップ、行動に出ることが十分に予想されます。靖国会の指導の下、今まで以上に気を引き締め靖国を守護しなければならぬと思っています。

今回、告発代理人を引き受けていただいた、徳永信一弁護士(大阪弁護士会)からも「皆さんにくれぐれもお礼を。」と言付かっています。

沼山光洋靖国会事務局長は、「手引きしたのは日本人、許せない!」と、ますますご立腹。真にその通りなのですが、「今回は腹7分で我慢してください。健康のため!」と申しあげておきました。

要は、靖国が気に入らない連中が靖国を貶めんがための手段の一つとしてこの狼藉の設計図を描きました。事件があった日、高金素梅一行様方は一暴れした後、その足で靖国から社民党のビルに向かい、巣スタンディングオペレーションを迎えられました。この連中も一網打尽にしない靖国狼藉事件の全てが解決したことになりません。今回は一応収めたいと思います。

前記の通り、今回は彼らにとってあくまでも一手段。相手は手を代え品を代え攻撃

してきます。我々が少しでも気を抜くと敗北。そんなことはあってはならない。書類は検察庁に送検されました。今後、起訴されるのか否か、検察審査会に駆け込むことも視野に入れ、注意深く見守っていきたいと思います。

今後の動きとともに、また「全員集合!」をお願いすると思いますが、その節はよろしくご協力くださいますようお願い申し上げます。

代表代行 増木直美(大阪)

靖国でデモ・神職けが、台湾の立法委員書類送検

(2011年8月11日 読売新聞)

靖国神社(東京都千代田区)で元日本兵の台湾人が合祀(ごうじ)されていることに対する抗議活動を行った際、制止した神職らにけがを負わせたなどとして、警視庁公安部は11日、台湾の高金素梅(こうきんそべい)・立法委員(国会議員に相当)(45)を威力業務妨害や礼拝所不敬、傷害などの容疑で東京地検に書類送検した。

発表によると、高金委員は2009年8月11日、靖国神社で約50人と抗議デモを行った際、境内に入るのを制止しようとした神職ら計6人を突き飛ばすなどし、うち1人の右手に軽傷を負わせるなどした疑い。

旧日本軍人らが昨年5月、同庁に刑事告発していた。高金委員は海外在住のため刑事責任を問うのは難しいとみられる。

高金委員は台湾の女性タレント出身で、01年に立法委員に初当選。02年以降、5回にわたって、靖国神社を訪れ、台湾人の合祀に反対する抗議活動をしてきた。

断腸の妥協とは「潰瘍性大腸炎」

「桜組」松谷裕子 (三重)

「桜組」は「断腸の妥協」で自民党の応援をします。

http://midpart.jp/kanyo/sakuragumi/tochi.htm 今日からは正確に、「潰瘍性大腸炎」なる妥協と呼称しよう。

じつは私もここ2、3ヶ月、顔面痙攣がひどい。ヒートタケシと同じ、顔の左半分がピクピク。原因はストレス。

「牛の歩み以上に遅い速度で、地道な運動」はストレスとの戦い。

デモ、我々はマ・ケ・ナ・イ。絶対負けない。牛歩！ 上等ジャン。 増木

「終戦の日」を控えて思うこと

松谷祐子 (三重)

2011年08月14日

何もかもが混乱している現在日本を、ご維新当時と重ねている人がいる。

今こそ、平成維新を起こして国家を変革するのだと、拳を力強く振り上げている。かつての私もそうだった。クーデターによる変革を夢見ていた。

三島先生が決起なされたとき、なぜ自衛隊は共に立ち上がらなかったのかと、恨んだりもした。戦後民主主義と決別し、理想とする国家体制が構築できるなら、この身を喜んで捧げたいとも考えていた。しかしながらご維新が成功したのは、討幕軍が「錦の御旗」を戴くことが出来たからである。御旗のお蔭で討幕軍は「官軍」となり、朝廷に心を寄せせる多くの国民を味方につけることが出来た故に60年間もの間戦知らずで平和ボケした幕府を倒すことが出来たのだらう。

現在、我等の陣営がクーデターを試みよ

うとも、「錦の御旗」が我が陣を飾ることは不可能である。

ここに私は、クーデターの成功は不可能であると断言せざるを得ないのである。それならば戦後民主主義とやらに法って、牛の歩み以上に遅い速度で、地道な運動を続けねばなるまい。これが私の人生最大のストレスである。

先日、思いもよらぬ「腸の病」を発症した。主治医から「この病はストレスが原因です。何かお悩みのことがあるのでしょうか。よければ話してくださいませんか？」

と言われ、迷った挙句「現在の日本の状況が許せません。それ以外の悩みなんて取るに足らないものです。」と打ち明けてみた。凡そ医師なんて奴は、反戦平和を美德のように有難がる大馬鹿者であるから案の定、「そんなことでお悩みなんですか？」と驚いていた。

先の戦争を境に、国民の民度は低下の一途を辿り、すべて進駐軍の策略通りになっている。アメ公如きに段取りされた「戦後民主主義」という毒薬は、国民の隅々に浸透してしまっている。所詮米國なんて国は、一皮むけば支那と何ら変わりない凶々しい国なのに、国防を委ね続けてきた歴代政府の間抜けぶりをあらためて痛感する次第である。

明日はのの回目の「終戦の日」である。三重県護国神社で行われる「英霊感謝祭」に出掛ける予定であるが、戦後日本人はまず、御霊に対して感謝の前に「謝罪」をしなければならぬのではないか？

進駐軍から押し付けられた憲法を、一字一句たりとも変えられずきたことを真摯にお詫びし、我が命尽きるまで運動を続け、その志を必ずや後世に引き継がせることをお誓い申し上げます。ご不承の病は進行すれば「潰瘍性大腸炎」

を引き起こすと言われております。安倍元総理と同じ病です。きつと安倍さんは、様々な圧力の中でストレスに曝され、病気が悪化した結果の辞任だったんでしょうね。しかし、病名と名のつくものにかかった現在、一人でも多くのノンポリを覚醒させ、「自主憲法制定」が日本を救い守るということを伝え広めていかねばならんと新たな闘志が湧いてきました。

思えば、特攻隊の皆さんは二十歳前後に散っていかれました。彼らに報いるためにせめて今日ぐらいはすべての日本人が、

先ずは、平素より私どもの活動に力強いご支援を賜り心から御礼申し上げます。このレポートにもありますように、私どもは「国を破壊しよう」と思っている連中」と日々命がけて戦っています。ところが問題は活動資金。子供達に誇りある国を残すため今まで以上にがんばります。何卒資金のご協力を伏してお願ひ申し上げます。

活動資金ご協力のお願ひ

【(一)支援等の口座】郵便振替 006808241054 MASUKI情報デスク 三菱東京UFJ銀行 中野支店 024349 普通 増木重夫

※ この、M情報機関紙は新聞の形態をとっていただきますが、「活動の報告書」です。特に「購読料」は設定していません。カンパをよろしくお願ひいたします。

○ カンパ金の主な使途は下記団体の活動の企画運営費です。

- ・ 活動の資料等の発送費・道路、公園

編集後記

靖国神社はじめ各地の護国神社のご神殿で手を合わせてほしいものです。ご英霊への感謝と慰霊こそが、戦後日本における復興への支柱でした。

村田春樹氏から電話があり、「ゴシックを使うな、明朝を使え！ 俺はゴシックは読む気がしない。」と言ってきた。M情報はオフセット印刷ではない。自動ガリ版。どっちが読みやすいですか。一部明朝で編集しました。

原稿・同封資料の募集について

弊会『M情報活動報告』は、現在のごく3ヶ月月初めに全国約2000(目標5000)部発送しております。掲載ご希望の論文、情報等ございましたらご希望の表記事務所までお送りください。

- M情報が活動の企画運営を行っている主な団体
- ・ 救う会大阪
- ・ 靖国神社に眠る御霊に感謝する会
- ・ 米國に原爆投下謝罪を求める会
- ・ 大阪の公教育を考える会
- ・ スパイ防止法の制定を求める会
- ・ 外国人参政権に反対する会・関西
- ・ 日教組の違法行為を追及する市民の会
- ・ 竹島を奪還する会・関西
- ・ 改憲祈念の会

◇ 前記口座、または同封の郵便振替にてご協力ください。